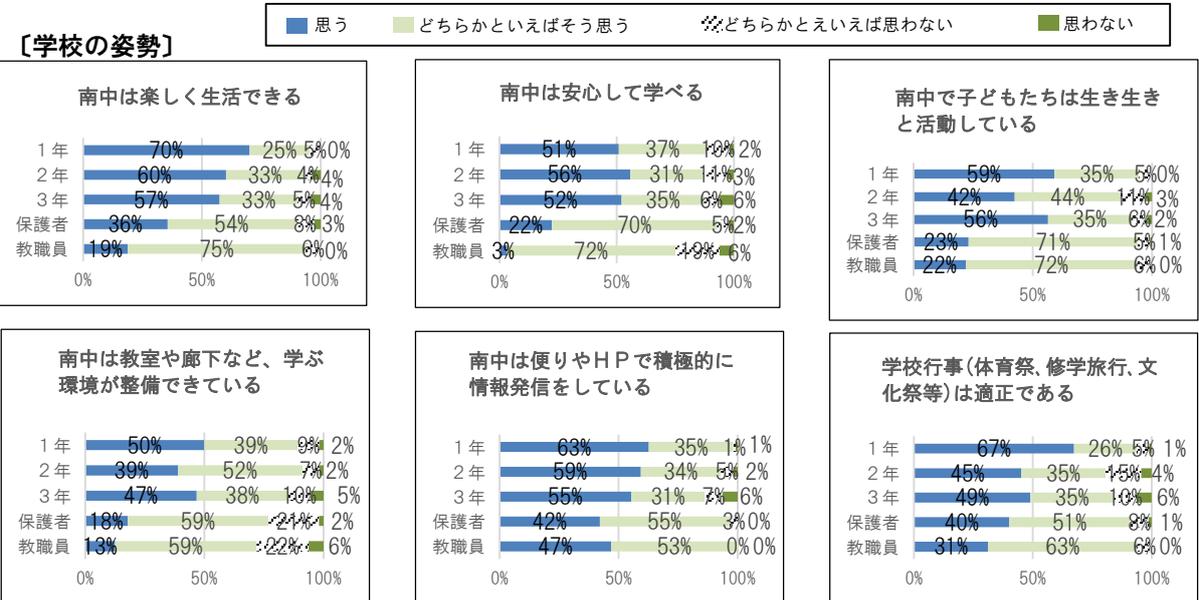


令和7年度 第2学期 学校評価 集計結果（ご報告）

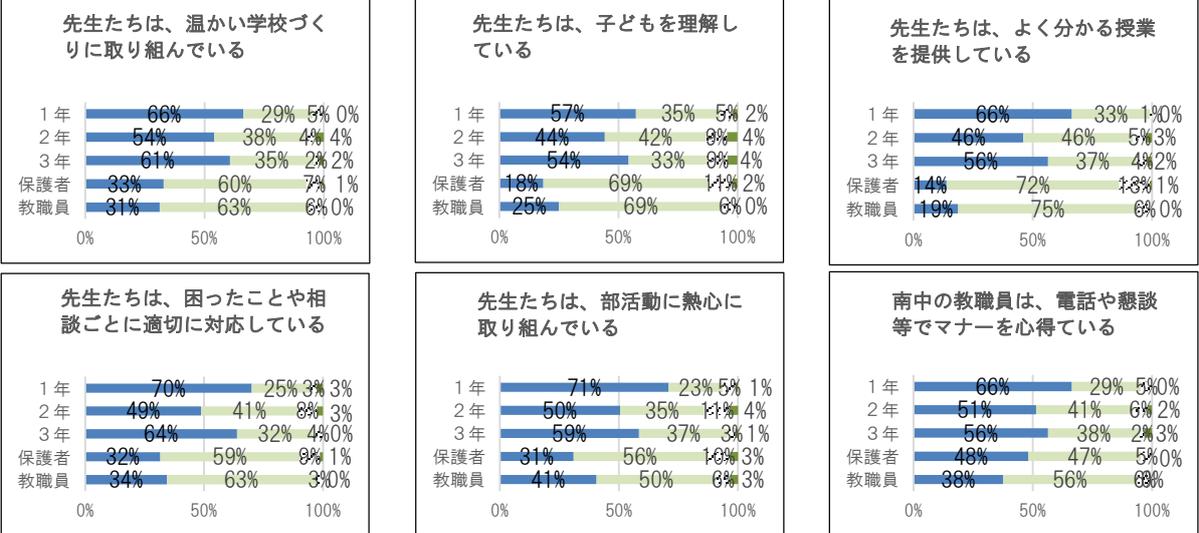
新春の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃より、本校教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、2学期末に実施いたしました「よりよい学校づくりのために」アンケートの結果をご報告いたします。集計結果及び皆様からいただいた貴重なご意見を参考に、良かったところは更に伸ばし、課題として挙げられたことは改善できるよう取り組んでいます。



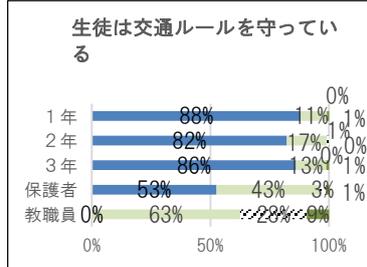
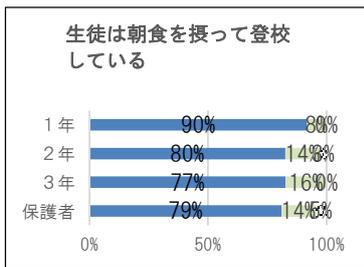
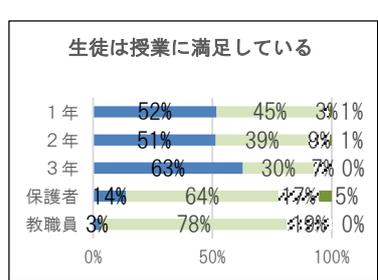
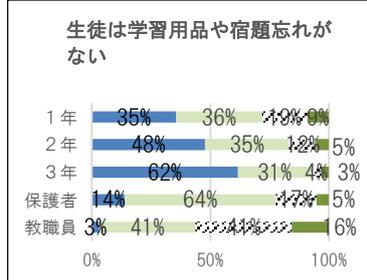
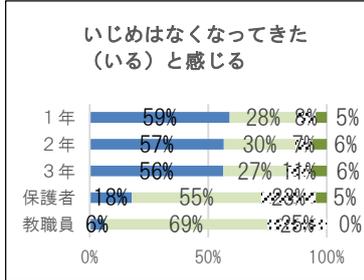
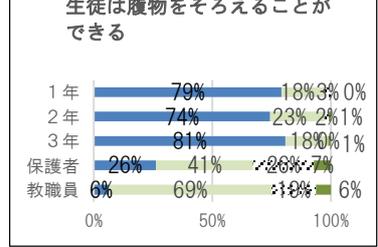
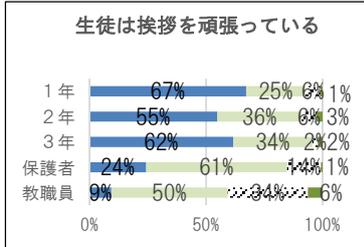
- ・「楽しく生活」「生き生きと活動」の項目では、生徒、保護者、教職員の三者とも肯定的な回答が80%を超えていることから、生徒たちの多くが楽しく意欲的に学校生活を送ることができていると感じます。3学期も生徒が生き生きと活動できるよう尽力します。
- ・「安心して学べる」の項目では、教職員の肯定的な回答が80%にやや届かなかったもの、概ね肯定的な評価となっています。2学期は体育祭をはじめ、行事が多く、楽しく活動できる反面、全体的に落ち着かずトラブルの発生が増える時期にもなります。全ての生徒が安心して学ぶことができるよう学習規律を今一度見直すことから取り組んでいきたいと思います。
- ・体育祭については「時間が短すぎる」という意見もありました。本校では熱中症予防として、練習期間を短くしたり、競技内容を工夫したりしています。生徒の健康・安全を第一に考えながら、心に残る行事になるようさらに改善したいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いします。

**【教職員の取組】**



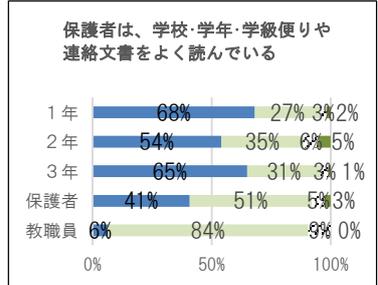
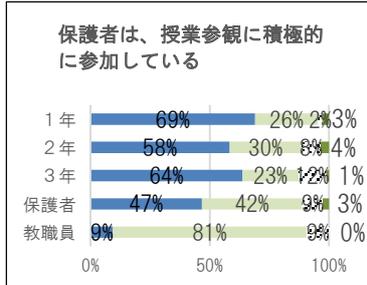
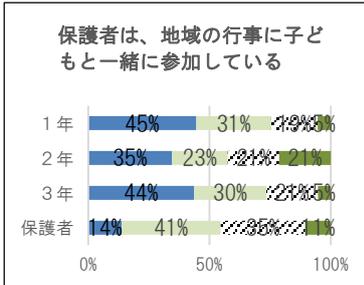
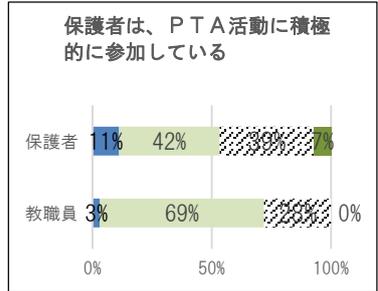
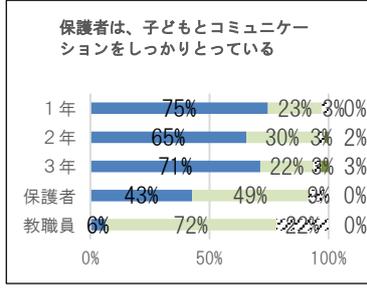
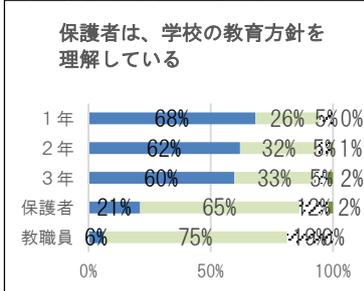
- ・どの項目も、1学期同様肯定的な評価が80%を超えています。このことから、教員たちは生徒一人一人に真摯に向き合い、成長の助けとなれるよう努力していると感じます。今後も精一杯生徒たちに関わっていきます。
- ・「よく分かる授業」の項目も、生徒の評価は高く、生徒については、どの学年も肯定的な回答が90%を超えています。しかし、保護者の方には、不安を感じている方も一定数いることが分かります。今後も、分かる授業づくりのための研究を進めていきます。
- ・教職員の言動についてより丁寧さが必要とのご指摘がありました。この意見を真摯に受け止め、今後は信頼回復に努めていきます。

## 【グラウンドデザイン】



- ・ほとんどの生徒が朝食をとって登校できていることが分かります。成長期にある中学生にとって、朝食は健康面だけでなく学力の向上にも大きく関わります。今後とも朝食をしっかりとって元気に学校生活が送れるようご協力をお願いします。
- ・教員の評価は全体的に低い項目が多くなっています。「交通ルールを守る」に関しては、自転車の乗り方について地域からご指摘を受けることもあったため、大切な命を守るために、より一層生徒たちの意識を高める取組を検討する必要があると思います。
- ・「いじめ」「学習用品・宿題忘れ」の項目に関して、大きな課題があると考えます。特に「いじめ」に関しては、更に早期発見・早期解決に努めるとともに、相談しやすい体制づくりを行ってまいります。またお互いを思いやることのできる人間関係づくりを学校教育全般を通して行ってまいります。
- ・学校生活に関連して「校則」についてのご意見もありました。校則検討委員会での議論も含めて、規定の見直しを進めていきたいと思っております。

## 【保護者としての役割】



- ・「学校の教育方針の理解」「参観授業」「連絡文書」の回答結果から、保護者の皆様が本校の教育活動に高い関心を持ち、ご理解とご協力をいただけていることが分かります。また、参観授業や学校行事にいつも多くの保護者の方が来てくださっており、生徒や教員の励みになっています。
- ・「PTA活動」に関しましては、役員の方々を中心に2学期も十分ご協力いただいていると感謝しております。お忙しいと思いますが、今後も生徒たちのためにご協力をお願いします。ただ、保護者の方からは「PTA活動の運営方法等の見直し」についてもご意見をいただきました。少子化の影響で生徒数が減少している地区も見られます。役員の定数や学校行事の精選など、来年度見直していきたいと考えています。
- ・これからの教育活動には、地域の方々のご協力が重要となります。積極的に地域行事に参加することで、地域とのつながりも深くなると考えます。